

令和7年度 銀杏ヶ丘こども園

事業計画書

上記、令和7年度について報告いたします

- 1, 保育方針(保育理念・保育目標) 別紙
- 2, 年間行事とねらい
- 3, 教育・保育の内容 別紙
- 4, 教育・保育を実施する日時間等
- 5, 職員体制
- 6, 職務分担表 別紙
- 7, 職員会議・ケース会議・給食会議
- 8, 健康診断(園児・職員)
- 9, 給食・食育計画
- 10, 園だより 別紙
- 11, 備品・遊具等購入、建物修繕
- 12, 苦情処理対応・災害時緊急連絡等(重要事項説明書に記載)
- 13, その他

令和7年度 銀杏ヶ丘こども園 事業計画

1. 保育方針

銀杏ヶ丘こども園の理念・方針・目標を理解する。

●法人の理念（事業運営方針）

- ・私たちは奉仕の精神を基本に事業運営を行うことで社会に貢献します

●銀杏ヶ丘こども園の理念（運営理念）

- ・園児の最善の利益を尊重し、心身共に健やかに育てます。
- ・家庭と緊密な連携を図り、発達過程を踏まえ、適切な環境を提供しながら養護及び教育を一体的に行います
- ・地域社会と連携し合い、園内外の子育て家庭への支援を行います。
- ・専門的な知識・技術及び判断をもって、園児の保育と保護者への支援を適切に行います。

●(保育の理念)

子ども心に寄り添い 保育の輪を広げます

子どもの最善の利益を保障し家庭や地域と共に子育ての楽しさを共有していきます

① 基本方針

「豊かな人間性を育て、生きる力の基礎を培う」ことを目的とし児童の最善の利益を保護すると共に、保護者のニーズに応えた園の運営であり、地域の子育て支援の拠点施設としての役割を担う。

- ◆教育・保育の提供を行い豊かな人間性が育つためにふさわしい生活の実現する。
- ◆保育の専門的知識と技術及び判断を以って、子どもの健康・安全
 - ・情緒の安定を図り、自主性と生活力の発達を促す保育実践に努める。
- ◆子育て支援の視点から、必要性に応じて保育に関する相談・助言に努め、社会的役割を果たす。

② (職員行動指針)

- ・子どもの心に寄り添った保育を行う
- ・生活や遊びの中から学びがあることを理解し、環境づくりを行う
- ・子どもを中心に置き、家庭や地域との繋がりを大切にしていく

③ 保育目標

- ・健康でいきいきとした子ども
- ・仲良く遊べる子ども
- ・情緒の豊かな子ども
- ・言葉を豊かに正しく使える子ども
- ・創造する子ども
- ・意欲的に取り組む子ども
- ・良く見つめ考えて行動する子ども

2. 年間行事予定とねらい

令和 7 年度 行事と月のねらい 銀杏ヶ丘こども園		
年間の概要		【行事のねらい】 ・行事から心と体で感じ取れるような体験を通し豊かな感性を培えるよう働きかける ・発達段階に応じて、食への興味や関心が持てるよう工夫する ・家庭や地域と協働し保育活動を行い、保育の楽しさを伝えていく
月	行事・活動	月のねらい等(備考)
4月	・入園式 ・進級式	・入園や進級を喜び新しい生活への期待をもつ ・新しい友達や保育教諭等に慣れながら一緒に遊ぶ
	・春の小遠足	・環境に慣れ、自分の持ち物をしまう場所や部屋を覚える
	・親子DAY	・公共の場での行動やマナー、団体行動を体験し必要な知識を身につける ・親子で食育に興味を持つ機会を通し、日頃の保育活動の様子を共有する
5月	・親子DAY	・親子で食育に興味を持つ機会を通し、日頃の保育活動の様子を共有する ・保育・教育活動に意欲的に参加し、集団の中で自己を発揮する ・春の自然に触れ、戸外で元気に体を動かす
6月		・雨季の生活リズムを整え、健康に過ごす ・天気の変化に気付き自然現象への興味関心をもつ
7月	・運動会	・色々な運動遊びに興味を持ち思いきり体を動かして遊ぶ ・運動会練習に意欲的に参加し、最後までやりぬくことで達成感を味わう
	・七夕まつり	・日本の伝統行事に触れ理解を深める
8月		・園菜園での収穫を喜び、食への興味や関心を深める ・夏季の生活リズムを整え、健康に過ごす ・夏の自然に触れたり、夏ならではの遊びを十分に楽しむ
9月	・祖父母参観	・祖父母との楽しい時間を過ごし、園ならではの安心感の元で成長を見てもらう ・友達とイメージを共有して色々なものを作ったりしながら地域交流を楽しむ
	・Megoまつり	・地域の方々との交流を深め、保育の楽しさを広める
10月	・秋の小遠足	・団体行動を通して友達と一緒に体験することを喜び合う ・友達や保育教諭等と関わり合う中で感情を豊かにし、伝わる心地よさを感じる
	・お泊り保育	・公共の場での行動やマナー、団体行動を体験し必要な知識を身につける ・戸外遊びや散歩などを楽しみ、秋の自然への興味・関心を深める
	・ハロウィン	・日本以外の国の行事を知り、表現する楽しさを味わう
11月	・七五三	・日本の伝統行事に触れ理解を深める ・曲に合わせてさまざまな方法で表現する楽しさを味わう
	・お遊戯会	・行事に向けてみんなで力を合わせ創造し、その達成を共に喜び合う
12月	・餅つき会	・友達と一緒に活動を楽しみ、共感しあいながら気持ちを言葉で伝え合う ・この季節にしか味わえない雰囲気や感動を体験する
	・クリスマス会	・冬の自然や季節の変化に興味・関心を持ち表現しようとする
1月	・カルタ大会	・風邪の予防の仕方を理解し、衣服の調節やうがい手洗いなどを進んで行う ・伝承遊びや風習に関して、遊びや生活の中から学んでいく。
	・参観Week	・カルタあそびのルールを知り、ゲームの中で文字や数への関心を高める ・日頃の保育活動の様子を家庭と共有し子どもの成長を喜び合う
2月	・節分の日	・日本の伝統行事の風習や長に理解を深めながら楽しむ
	・雪上カルタ会	・風邪の予防の仕方を理解し、衣服の調節やうがい手洗いなどを進んで行う ・寒さに負けず体を思い切り動かし冬の遊びを楽しむ
	・なわとび大会	・友だちと一緒に会話したり色々な遊びの中で、関わりや親しみを深める
	・お別れ会	・友達との繋がりを深め相手を認め合うことを知る
3月	・卒園式	・進級に向け期待感を膨らませながら何事にも意欲的に取り組む。
	・修了式	・自身の成長を感じるとともに相手の成長をも喜び認め合いながら相互に高めていく ・社会生活におけるルールやきまりを守ろうとし、望ましい態度を知る

その他・避難訓練・安全教室(年 12 回) ・不審者対策訓練 (年 4 回) ・絵本の貸し出し(毎週)
 ・保健教室(年 3 回) ・安全教室(年 3 回) ・クラス内クッキング(年 3 回)
 ・クラス別食育教室(年 6 回) ・絵本の読み聞かせ会(毎月)
 ・誕生会試食会(年 12 回) ・個別面談(全園児対象) ・年長児テーブルマナー教室(2 月)

※4,5 歳児対象・サッカー教室・英会話教室(アレク kids 講師) ・スイミング教室(五所川原ウイング)
 ※年長児放課後クラブ活動(隔週火曜日)

3. 教育・保育の内容(デイリープログラム)

時間	3号児童			2号児童	1号児童
	生後57日～7か月	7か月～1歳未満	1歳児～2歳児	3.4.5歳児	
7:00～	-順次登園 -保育教諭による健康観察・検温 -持ち物の確認 -異年齢保育		-順次登園 -保育教諭による健康観察・検温 -持ち物の確認 -異年齢保育	-順次登園 -保育教諭による健康観察・検温 -持ち物の確認 -異年齢保育	-預かり保育
9:00～	-オムツ交換 -触れ合い遊び ※ミルク・睡眠・おやつは月齢や発達に合わせて対応		-うた・体操・リズム遊び -消毒・おやつ -排泄・オムツ交換 -朝の会・出欠・挨拶・歌	-うた・体操・リズム遊び -排泄・手洗い・うがい -朝の会・出欠・挨拶・歌	
10:00～			-一言活動 -カリキュラムに沿った活動を行う(→遊戯・伝承遊び・散歩・ままごと・ブロック・お絵かきなど) -片付け -オムツ交換・排泄・手洗い	-一言活動 -カリキュラムに沿った教育時間(3歳児・4歳児・5歳児合同クラス) -スィミング・英会話・製作・文字のお稽古・マラソン・戸外遊び・自由散策・畑づくり・合奏・鼓笛隊活動等 -片付け	
11:00～	-オムツ交換		-給食準備		
11:15～	-ミルク・睡眠	-給食準備 -離乳食・哺乳	-離乳食・哺乳 -歯磨き -活動(絵本・トミック人形遊びなど) -オムツ交換・排泄・手洗い	-排泄・手洗い・うがい -給食準備・絵本 -給食を食べる(食育に関する知識を深める・体づくり・生活習慣) -歯磨き・うがい	
12:30～	※月齢や発達に合わせてミルク・睡眠の対応	オムツ交換 -午睡	-午睡準備 -午睡	-活動(戸外遊び・絵本・積木遊び・自然散歩など) -排泄・手洗い・うがい -午睡準備・午睡	-カリキュラムに沿った教育活動(3.4.5歳児合同) -降園準備
14:30～	-起床・オムツ交換・排泄 -検温		-起床・オムツ交換・排泄 -検温	-起床・排泄 -着替え・絵本	-順次降園 -預かり保育
15:00～	-活動(触れ合い遊び・音楽・手遊び・散歩など)		-おやつ -帰りの会 -降園準備	-おやつ	
15:30～	-順次降園		-順次降園 -活動(積木・絵本・マット遊びなど)	-順次降園 -活動(トミック・大型ブロック等)	
16:00～	-異年齢保育 (お絵かき・絵本・トミック・粘土・ままごと・ブロック・戸外遊びなど) 年齢に合わせてオムツ交換・排泄・検温				
17:30～	-順次降園 -おやつ				
19:00	閉園				

4. 教育・保育を実施する日時間等

	開園	閉園	延長保育(預かり保育)
1号認定園児	9時	13時	7時～9時 13時～18時・18時～19時
2号・3号認定園児	7時	19時	標準 18時～19時 短時間 7時～8時・16時～19時
一時預かり保育(在籍園児以外)	9時	17時	

●1号認定園児 9:00～13:00までの4時間を教育時間とする。教育部分は基本3学期制とし、教育週数は年間39週以上とする。祝日より教育日数が変動するが学期区分は概ね次の通りとする。

- (1) 1学期 4月1日から7月後半頃まで
- (2) 2学期 10月1日から12月中旬頃まで
- (3) 3学期 1月中旬頃から3月後半頃まで

●2号・3号認定園児 7:00～18:00までの11時間を保育標準時間とする
8:00～16:00までの8時間を保育短時間とする

※休園日・・・日曜日・祝祭日・年末年始(12月29日～1月3日)

5. 職員体制

保育・教育を提供するにあたり、配置する職員の職種、員数及び職務内容。

尚、職員数は入所児童の人数により変動することがある。

- ・園長 (常勤専従 1人) 園長は、保育・教育の質の向上及び職員の資質の向上に取り組むと共に、業務の経理を主に行う。
- ・副園長 (常勤館長兼任 1人) 副園長は、園長を補佐するとともに、職員の管理及び業務の管理など庶務全般を主に行う。
- ・主幹保育教諭 (常勤専従 2人) 主幹保育教諭は、園長を補佐するとともに、保護者

- からの育児相談、地域の子育て支援活動及び保育内容について他の保育教諭を統括する。
- ・副主幹保育教諭（常勤専従 2人） 副主幹保育教諭は、主幹を補佐するとともに、保育内容について他の保育教諭と連携を図り相談役となり、保育全体を把握する。
 - ・保育教諭（常勤専従、非常勤）14名 保育教諭は、保育計画及び保育課程の立案とその計画、家庭に基づくすべての子どもが安定した生活を送り充実した活動ができるよう保育を行う。
 - ・看護師（非常勤専従 1人）
看護師は、こどもの健康管理と当園全般の衛生管理を行う。
 - ・栄養士兼調理員（常勤専従 1人、非常勤 1人）
調理員は、献立に基づく調理業務及び食育に関する活動を行う。
 - ・事務・用務員（常勤専従 1人）
事務・用務員は、当園の事務及び雑務を行う。
 - ・嘱託医(学校内科医・学校歯科医・学校薬剤師) 計3人
嘱託医師・嘱託歯科医、学校薬剤師は、当園の子どもの心身の健康管理を行うと共に、定期健康診断・定期健康歯科健診、職員及び保護者への相談・指導を行う。

※令和7年度職員体制：施設内常勤職員17名・非常勤6名・児兼務2名・嘱託医3名(4/1現在)

イ、入所児予定数と職員配置

- ・未満児クラス0歳児4名・1歳児14名・計18名（配置：常勤4名・非常勤4名）
- ・2歳児18名（配置：常勤3名）
- ・年少児クラス3歳児14名・（配置：常勤1名・非常勤1名）
- ・年中児クラス4歳児14名・（配置：常勤1名・非常勤1名）
- ・年長児クラス5歳児23名（配置1名） **合計87名**

その他職員・園長1名・副園長1名・主幹2名・副主幹2名・フリー1名・調理員3名・用務員1名

6・職務分担表 別紙資料のとおり

7・職員会議・ケース会議・給食会議

- イ、職員会議 年12回
- ロ、ケース会議 3回
- ハ、給食会議 年12回
- ニ、その他の会議(発達支援会議・子育てケア会議・主任検討会議・幼保小連携会議)
- ホ、新任保育者園内体制勉強会（年3回）
- ヘ、チーム保育者園内研修会 年8回の予定(専門機関の巡回相談は随時連絡調整)
- ト、園内保育研究①～⑤

令和7年度 園内会議 及び 園内研修 年間計画表

月	園内研修年間予定	参加者
4月	・新規採用職員園内マニュアル勉強会①	・対象職員 3名担当職員 2名
5月	・幼保小連携会議(小学校) ・園内保育研究①「保護者対応についての具体案」 ・専門機関巡回指導・コンサルタント会議 年長組	・担当職員 2名全職員参加 (対象：園児・保護者)
6月	・ケース会議①(対象児：7人)個別支援計画書作成 ・専門機関巡回指導・コンサルタント会議 年少組 ・チーム保育者研修(ミドルリーダー園内体制検討)	・全職員参加・コンサル 2名 ・対象職員 5名
7月	・園内個人面談検討会議 ・園内保育研究②「保護者の困り感を考える」	・全職員参加・全職員参加
8月	・ケース会議②(対象児：7人)個別支援計画書作成 ・チーム保育者研修(中堅保育者ライフワークバランスについて)	・全職員参加・対象職員 5名
9月	・前期各業務振り返り検討会・報告会	・全職員参加
10月	・専門機関巡回指導・コンサルタント会議(個別支援計画書作成) ・園内保育研究③「気になる子の保護者の揺れ動き」	・担当職員2名・コンサル2名 ・全職員参加
11月	・新規採用職員園内マニュアル勉強会② ・幼保小連携会議(小学校)	・対象職員3名・担当職員2名
12月	・園内保育研究④「保護者とのコミュニケーション術」 ・保健衛生全職員参加型研修「嘔吐物小処理・感染症対策について」	・全職員参加

1月	・新規採用職員園内マニュアル勉強会③ ・専門機関巡回指導・コンサルタント会議 年少組	・対象職員3名・コンサル2名 ・担当職員 2名
2月	・ケース会議③(対象児:9人)個別支援計画書作成 ・園内保育研究⑤「保護者対応の実践報告」	・全職員参加
3月	・今年度業務まとめ、次年度の方向性等の検討会	・全職員参加

※園内新任保育者研修は年3回とし、指導役はカンファレンスや人材育成の研修を積んだ職員が行う。(主幹・指導担当)新任保育者には身近な相談役を配置。

※それぞれのキャリアを積むためキャリアアップ研修への参加もあるので、外部と内部研修を分ける

・期日、内容等は担当者が決め、時間は 午睡の時間帯で1時間半以内とする。

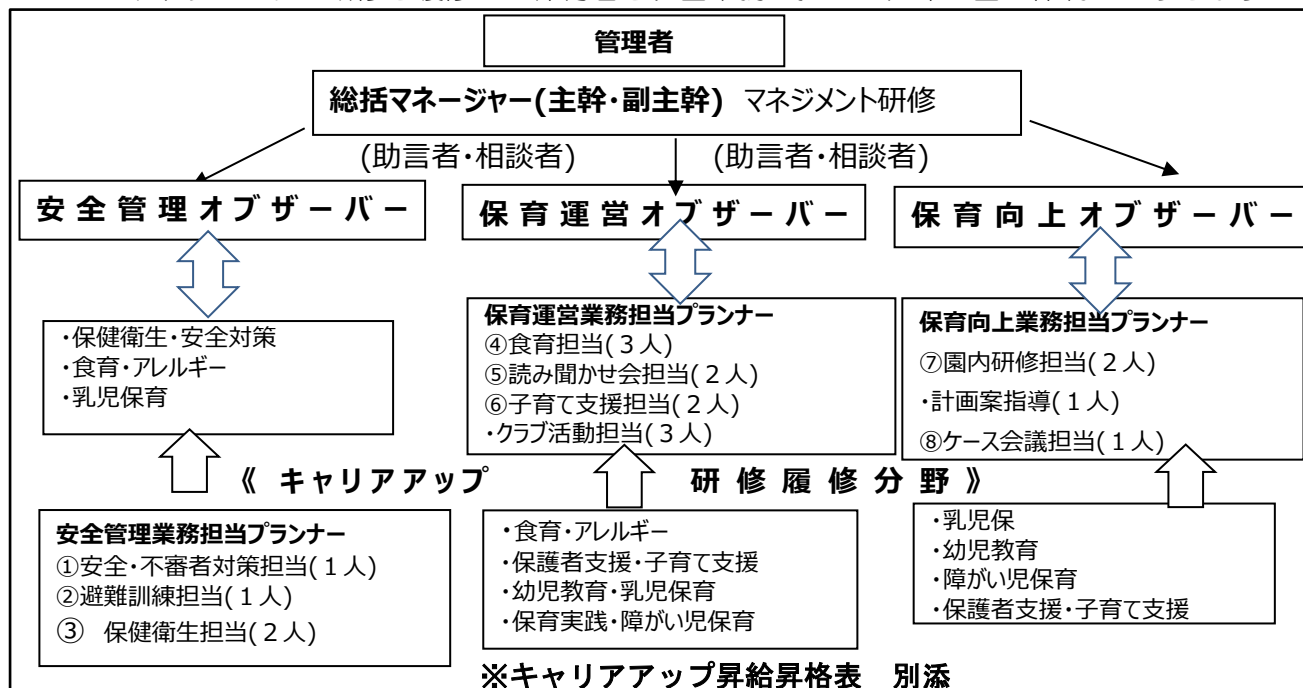
・園内研修、勉強会等は合わせて年間4回以上とする

※担当者はテーマに基づく研修内容、資料作り、会議場所の設定、会議の進行を行い、欠席者があった場合は、後日、再度行う。

●園内チーム保育者研修は年3回。指導役はカンファレンスや人材育成の研修を積んだ職員が行う。※若手保育者には身近な相談をできる体制づくりとして園独自のメンター制度導入。

◎園内業務 組織図：《職員スキルアップ体制》

※キャリアアップ研修を履修した保育者を、園業務の担当に任命し園の体制づくりを示す



8・健康診断(園児・職員)

イ、園児・・・内科医・歯科医による検診 年2回(4月と10月)

発達検査・発達曲線相談等は必要に応じて随時

身体測定・頭囲測定・(毎月)・フッ素うがい(毎日:年長児対象)

ロ、職員・・・県保健センター巡回総合健診・インフルエンザ予防接種(毎年)

ハ、学校薬剤師による環境調査(水質調査、照度、騒音レベルの検査、プール・砂場検査)

9・給食・食育計画(指導計画別紙参照)

●誕生会に新入园児の保護者へ試食会を行う

●日本全国の郷土料理を味わう

●行事食を多く盛り込み郷土食や伝統文化に触れる

●午前のおやつを通常にしてHPなどにもアップし情報発信していく

●パンの日を設け、主食に米以外のものも取り入れ、旬の野菜や栄養素についても伝えていく。

イ、給食試食会(毎月)、給食献立の玄関展示

ロ、自園畑の野菜の栽培(トマト・きゅうり・オクラ・キャベツ・パプリカなど)収穫・観察

ハ、食育教室・人気メニューレシピ配布

※感染症・アレルギー等の対策を検討しノロウィルスや食中毒などの注意を十分はらう。

10・園だよりの綴りのおり

11・備品・遊具等購入、建物修繕

イ、ICT化による登降園システム導入予定

12・苦情処理対応・災害時緊急連絡等 (重要事項説明書に記載)

13・その他

イ、《つがる市指定管理事業実績》

- ・つがる市ひなた児童館の事業・・・学童保育：令和7年度利用登録者180名
- ・つがる市木造地域子育て支援拠点センターの事業：登録者数30数名
- ・銀杏ヶ丘こども園の子育て支援と連携したイベント開催

ホ、《その他》

- ・福祉医療機構への返済開始
- ・園バスガレージ(年度末事業)